



【巻頭言】

夏祭りと箸置き

「頂く」より「差し上げる」喜び

園長 野田大燈

台風 8 号が全国に甚大な被害を及ぼしつつ四国に迫り、1 か月かけて準備していた学園恒例の夏祭りも「中止か?」と危ぶまれていましたが、台風は急に遠ざかりました。

夏祭りの当日は、被害を受けられた地域の方々には申し訳ないような快晴で、保護者の方々・卒園生・児童相談所等関係機関など 100 名強の方がお越し下さいました。

夏祭りは練習を重ねてきた「若竹太鼓」の披露で始まりました。

かき氷・焼きそば・綿菓子・フランクフルト等々 10 店舗が並び、持ち場の園生が大声で集客につとめていました。

普段は声が小さくて聞き取りにくい園生が、どこから声が出るのだろうか、と言うような声で呼びかけていたのが印象的でした。

また、今回の特別メニューは「箸置きプレゼント」でした。

数か月前に地元の陶芸教室開催の「陶芸祭り」からご招待があり大半の園生が車数台に分乗して訪れました。

その折に参加した園生全員に陶芸教室の生徒さんが作られた箸置きを頂いて大喜びしていました。

そして夏祭りの準備が始まる頃に A 君が「夏祭りに来られたお客さんに箸置きを作ってプレゼントしようよ」と言って来ました。

周囲に居た園生たちも「作ろう、作ろう」と盛り上がってきました。

早速に粘土とお菓子作りに使用する形抜きを数種類購入して箸置き作りを始めました。

とは言っても、私自身が箸置きを作ったことがないので、陶芸の先生に製作法を教わり見本の箸置きをお借りしてきました。

園生の半数以上が参加したために、まだ造作中の陶芸工房が満員になってしまいました。

黙々と集中して製作している園生、仲間と喋りながら作っている園生等々ですが、なんと数時間の間に 200 個以上も形抜きをしました。

女子の中学生が「土鈴を作ってもいい?」と質問しました。

以前から土鈴に興味はありましたが、土鈴の中にどうやって球を入れたのか…? が 70 才近くになっても理解出来ていなかった。「うん、でもそれはとても難しいと思うよ」と言うと「どうして? 最初から球を紙に包んで入れておけば問題ないよ」

教えている心算が何時も教わることの多い学園生活です。

当日はお陰様で 100 名以上の方が訪れて下さり、疲れてはいるが園生達は意気軒昂で満足の表情でした。

— 了 —

若竹学園夏祭り

7月12日(土)に若竹学園夏祭りがありました。天候にも恵まれ多くのお客さんにも来て頂くことができ、子ども達も喜んでいました。子ども達は6月より看板や掲示物を準備し、夏祭りを楽しみにしていました。

今年の出店は、フランクフルト、やきそば、フライドポテト、カキ氷、ジュース、綿菓子、ハーブティー、ストラックアウト、くじ引き、射的、輪投げを行いました。学園紹介の掲示物は、学園の歴史、年間行事、スポーツチャンバラ、太鼓、農園、坐禅、ハーブ園、学校・職員紹介を作成しました。



毎年、学園の夏祭りは日頃お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めておもてなしするという意味を込めて行っています。今回初めて夏祭りに参加する子どもも多かったのですが、子ども達が力を合わせて出店したお店で一生懸命頑張っていたのが印象的でした。この夏祭りでは子ども達の頑張り、成長した姿を見ていただける機会となったと思います。ご来園くださった方々、ありがとうございました。



地引網体験

6月28日(土)に、さらスポーツクラブ主催の日帰りキャンプに参加しました。学園からは小学6年生が参加し、地引網をひいて魚をとったり、とった魚を包丁でさばいたり初めての経験を多く体験することができました。子ども達は、ボランティアの人が優しくサポートしてくれる事で安心して活動に取り組むことができ、とても心に残る満足な一日を過ごすことが出来たと思います。



防災センター

7月24日(木)に防災訓練に参加してきました。消火器の使い方や消防車・救急車などの活動の仕方を学んだり、地震や火災時にどんな事が大切になってくるかを学ぶことが出来ました。



若竹学級だより

～平和への願い～

7 月は、平和学習として、高松空襲について学びました。

はじめに、映画「月光の夏」を鑑賞し、特攻隊に選ばれた人たちの、無念の気持ちや、残された家族の思いを知ること、戦争の恐ろしさを学びました。

つぎに、高松空襲の授業では、B29 爆撃機が、高松の上空で発射命令を待ちながら、不気味に旋回していたことや、高松市内の被災地区が、若竹学園のすぐ近くまで来ていたことに、驚きと戸惑いをかかせない様子でした。

また、当時、看護師であった方の高松空襲体験記を読んで、子どもたち一人一人が自分の思いを書き、戦争や平和について、考えを深められたようです。

感想文の中で、「このような残酷な戦争を二度と起こさないためにも、戦争の事実を、身近な人に語りついでいきたい」と、書いていた生徒もいました。

子どもたちには、平和学習を通じて、戦争の恐ろしさを理解し、被災した人たちの思いを感じ、二度と戦争が起こらないように、平和への願いを、もち続けてほしいと思います。



焼け残った JR 高松駅

(参考資料、高松空襲写真より)

待ちに待った水泳学習

夏真っ盛り！！本年度、水泳学習は 4 日間予定しておりましたが、台風の影響で 2 日間のみの実施となりました。ようやく、天候に恵まれ、みんな仲よく、元気に泳ぐことができました。



「気持ちいい～」



「クロールの練習をしよう」



「みんなで鬼ごっこだ～」

きゅうりの収穫

7 月にきゅうりを収穫しました。いつの間にか大きく育ち、自分達の顔より大きくなったことに驚いている子どもが多かったです。

野菜を育て収穫することで子ども達自身が野菜好きになればいいなと願って、職員もこれからの暑さに負けず野菜作りに励んでいきたいです。



陶芸の絵付け

夏祭りでも紹介していましたが、陶芸で箸置きを作りました。今回は焼き上げた陶芸に絵付けを行いました。細かい作業でも集中して作品を仕上げる事が出来ました。



○学園に実習に来られた実習生の方より、お手紙が届きました。

拝啓

この度の施設実習では、大変お世話になり、心から感謝申し上げます。初めての实習でありましたが二週間があつという間に過ぎ、大学の中での授業では決して学ぶ事の出来ない体験をさせて頂き、ありがとうございました。

最初はとても緊張をされていて不安もあったのですが、子ども達と毎日少しずつ話をしていくうちに仲良くなる事ができて、とても楽しかったと思います。子どもに対する職員の方の対応を近くでみる事ができ、子どもとの接し方を理解する事が出来ました。

敬具

7 行事

- 5 日 野球観戦
- 7 日 七夕
- 12 日 若竹学園夏祭り
- 17 日 買物学習
- 19 日 亀山学園夏祭り
- 24 日 防災訓練

～御寄附ありがとうございました～

アイゼン浜街道店 様

お菓子

夏祭り御寄附

ジュース・ゼリー等

子ども女性相談センター	泉川 慶喜 様
西部子ども女性相談センター	森 定男 様
恵愛学園 (西岡様・小橋様)	青木 民雄 様
香川銀行香西支店長 入谷様	植松 繁 様
原田様・林様・後藤様	堀 様

夏祭り募金箱

合計 15,165 円

編集後記

これから夏本番、海水浴・川遊び・プール・キャンプ等の行事を通して子ども達と沢山の思い出を作りたいと思います。

児童指導員 植松 圭吾

第 246 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈